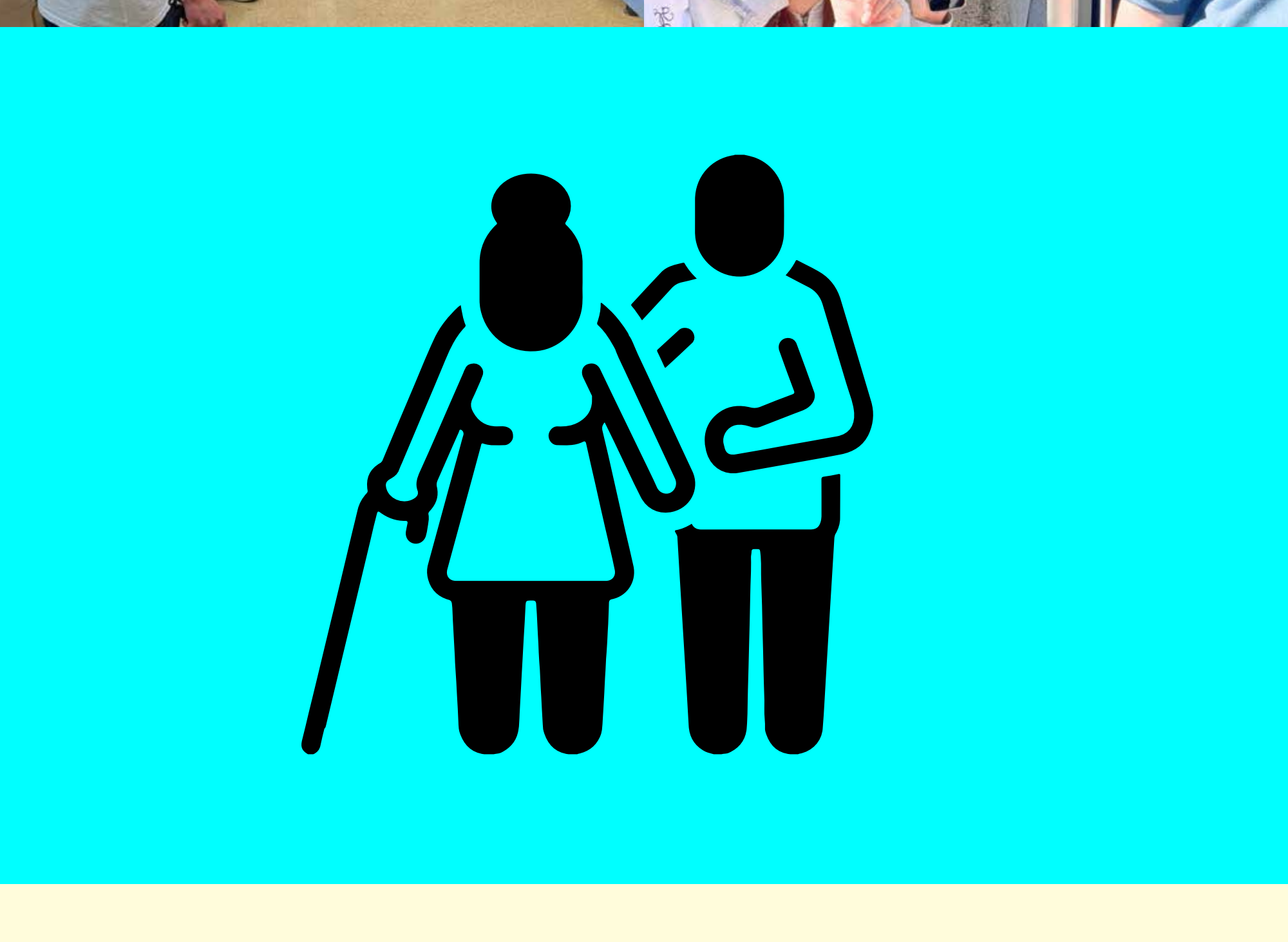




AUTHENTIC FIELD STUDY

日リハの授業で、
現場のリアルを学べる



POINT 01

障がい体験／障がい者の方を招いた授業

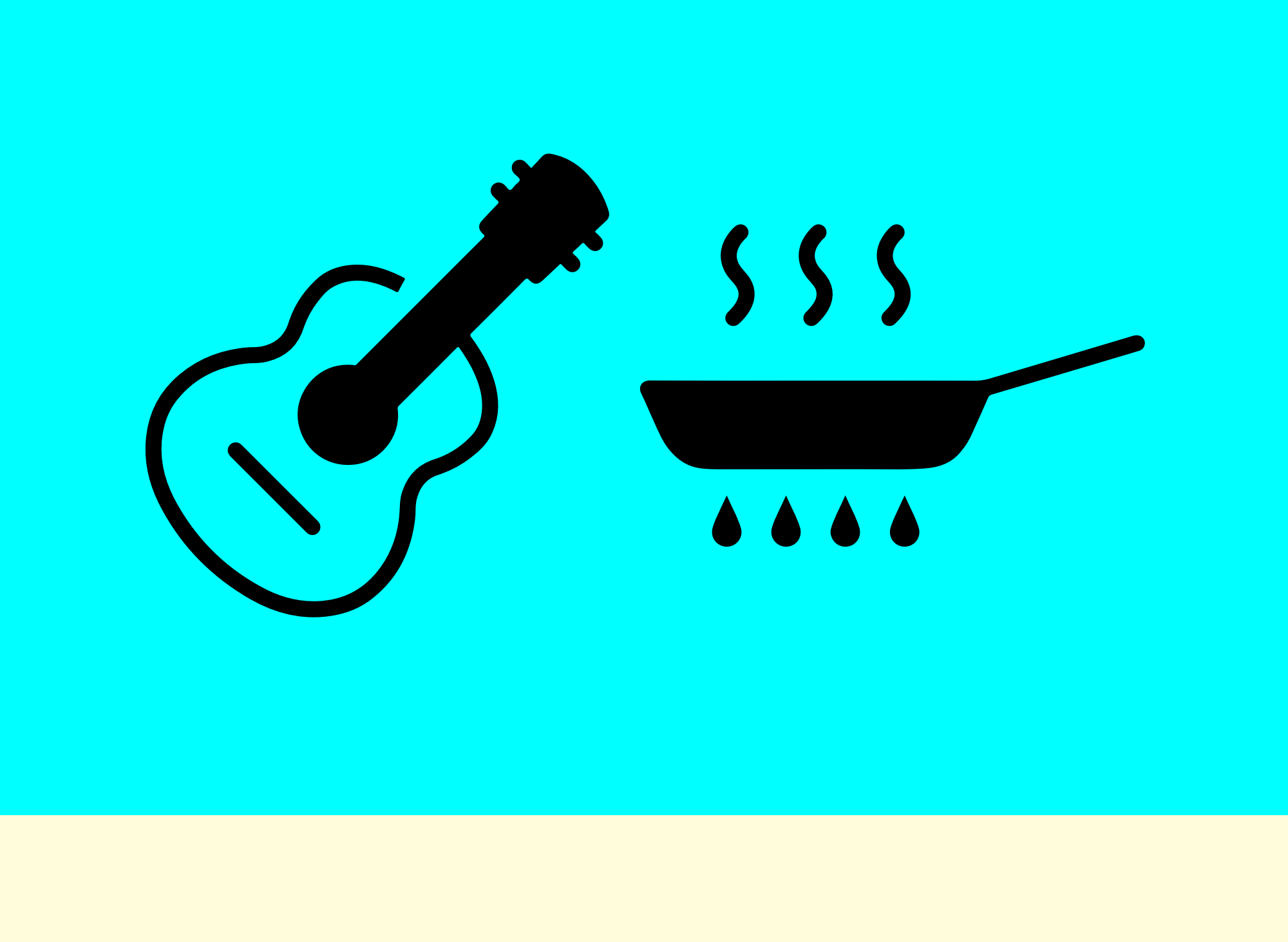
学生が障がいを持つ方々の視点を理解し、実際の困難を体験する「障がい体験」車椅子での移動や、ブラインドウォークなど、様々な体験を通じて、「患者様の気持ちを考えることができる力」を身につけています。



STUDY 02

車椅子トラベラーを招いた授業

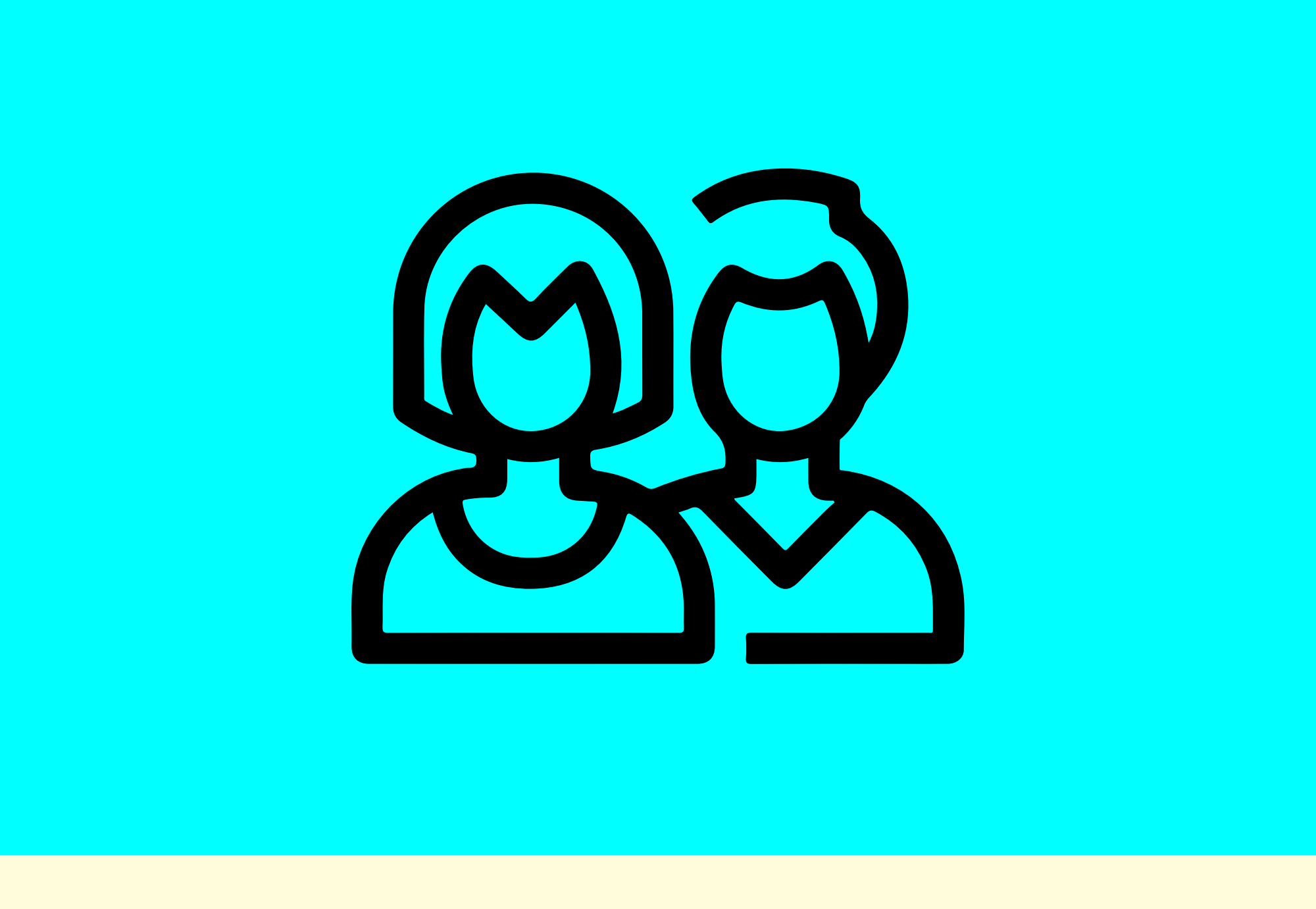
日常生活活動学演習の授業の一部で、実際に車椅子で生活されている方をお招きし、車椅子ユーザーの方々の目線を体験。学生は、患者様の目線で考えるとは？患者様に寄り添うとは？知識や技術だけではなく、患者様と「向き合って考える」ことを学べます。



STUDY 03

OT×音楽／家庭科

リハビリの一環として、調理を行います。日常生活活動学の一部で学生は、患者様が自立した生活を送るためのスキルを支援する方法を実践的に学びます。また、音楽療法士の先生をお招きした授業も行なっています。リハビリテーションにおいて相乗効果を生む重要なアプローチです。



POINT 04

卒業生・授業

現在、臨床現場で活躍している卒業生を招いて、実際の経験や最新の知識を共有します。学生は、先輩たちのリアルな体験談から、現場で必要とされるスキルやマインドを学びます。